〈著者紹介〉

三柴丈典（みしば たけのり）

1971年生まれ。1999年一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了，博士（法学）。2000年近畿大学法学部奉職，2012年より教授。専門は，労働法，産業保健法。2011年4月から2021年3月まで厚生労働省労働政策審議会安全衛生分科会公益代表委員。2014年7月衆議院厚生労働委員会参考人。産業保健・安全衛生法に関する著作を多数執筆。2020年8月にUKのRoutledgeから研究書Workplace Mental Health Law: Comparative Perspectives 発刊。2020年11月に日本産業保健法学会を設立し，現在副代表理事。

〈協力者紹介〉

日本産業保健法学会

生きた安全衛生法の探究と教育を目的として，多くの方々の支援を頂きつつ，2020年に設立された。現代表理事は，東洋大学名誉教授，元厚生労働省労働政策審議会会長の鎌田耕一先生。現在の会員数は1100名を超え，年次学術大会には1100名以上が参加。分野をリードする国内誌『産業保健法学会誌』と国際誌Journal of Work Health and Safety Regulationを発行，WEBで公開され，万単位のアクセスを得ている。労使の健康に関わる試行錯誤と対話に基づく自己決定の支援を重視することを理念に，多くの方々の自律的な活動により運営されている (<https://jaohl.jp/>)。